

## インフラ点検へ

### ロボ開発後押し

県、実証実験の場提供

県は16日、社会インフラを効率的に点検するロボットの開発を後押ししていくため、県が維持管理する橋やトンネルを実証実験の場として提供する考えを示した。さがみロボット産業特区の取り組みの一環で、ロボット開発企業側の申し出に応じて対応する。

高度成長期に集中的に整備されたインフラの老朽化は全国で問題視されており、県は生活支援や災害対応のロボットの開発・普及を柱としてきた特区の取り組みを拡大させて点検ロボットの実用化を目指す企業をバックアップする。

同日の県議会本会議で公明党の渡辺均氏（藤沢市）の一般質問に答えた黒岩祐治知事は、「神奈川でいち早く実用化し、広く普及を図りたい」と強調した。

（原 隆介）